

令和6年度 施策評価シート

基本目標		区民と区が協働で「すみだ」をつくる
政策	520	生涯学習・スポーツ活動の輪が広がるまちをつくる
施策	521	区民が生涯にわたり学び、その成果を活かすことができる環境をつくる
施策の目標	区民がさまざまな生涯学習活動に主体的に取り組み、生きがいのある生活を送っています。また、区民の間に生涯学習の輪が広がり、自身が学習した学習成果を地域活動に活かしています。	

1 基本計画における成果指標の状況

指 標 名	「さまざまな学習活動に取り組んでいる」区民の割合									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標					40.0%					42.0%
実績	38.1%				39.2%					
指 標 名	「身近な場所で学習活動ができる」と思う区民の割合									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標					53.5%					60.0%
実績	52.0%				49.1%					

2 目標と現状(実績)についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業費推移(千円)	
図書館は、さまざまな学習活動ができる場として大きな役割を果たしている一方、電子書籍や電子申請等DXの推進に取り組みながら、幅広い利用層を取り込んでいく必要がある。	R3	592,545
	R4	619,850
	R5	640,130

3 施策の評価及び判断理由

評価	理由
B	各事業の必要性は高いことから、引き続き、利用者へのサービスの情報発信や提供方法等、工夫や改善に取り組んでいく。

4 今後の施策の運営方針

評価結果	施策の戦略的方向性
	(1) 優先的に資源投入を図る。
○	(2) 現状維持とする。
	(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。
	(4) 資源投入の縮小を図る。
【上記の判断理由】	
既存事業においても、DXの推進を意識しながら、効果的で効率的な事業運営を図る。	
【今後の具体的な方針】	
電子書籍及び電子申請等DXの推進に取り組むとともに、事業における適切な情報発信を工夫し、必要としている対象者に確実に伝わるようにする。	

5 この施策に係る事務事業（重要度・貢献度順）

番号	事務事業名	歳出 決算額 (千円)	人コスト (千円)	歳出 総額 (千円)	目的に対する指標	直近の評価内容
					年度目標値	評価結果
					年度実績値	評価対象年度
1	図書館管理運営費	245,339	29,792	275,131	1,000,000	現状維持
					971,091	令和5年度
2	図書館事業費	179,654	26,387	206,041	1,000,000	現状維持
					971,091	令和5年度
3	資料購入費	68,148	50,476	118,624	1,000,000	現状維持
					971,091	令和5年度
4	障害者サービス事業	1,786	17,875	19,661	400	現状維持
					235	令和5年度
5	子ども読書活動推進計画 事業費	54,758	31,494	86,252	11/14	現状維持
					22.6/30.4	令和5年度
6	図書館と学校図書館の連 携事業	15,934	6,810	22,744	52/9	現状維持
					52.3/3.2	令和5年度
7	図書館オンライン事業	72,380	8,512	80,892	455,000	現状維持
					654,930	令和5年度
8	視聴覚資料	2,131	9,363	11,494	1,000,000	現状維持
					971,091	令和5年度
9						
10						
11						
12						

令和6年度 事務事業評価シート

施 策	521	区民が生涯にわたり学び、その成果を活かすことができる環境をつくる				部内優先順位
事 業 名	図書館管理運営費					1
目 的	安全かつ適正な施設管理を行うことにより、来館者が快適で利用しやすい環境をつくる。					主管課・係（担当）
						ひきふね図書館
						03-5655-2350
対 象 者	来館者 （主に区内在住・在勤・在学の方、隣接区に在住の方）					
根 拠 法 令 関 連 計 画	教育基本法、社会教育法、図書館法、文字・活字文化振興法、墨田区立図書館条例等					
実 施 基 準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤7、(株)図書館流通センター	
事 業 内 容	図書館施設の維持管理 緑図書館・立花図書館・八広図書館は指定管理者制度による施設運営					
経 過	開始年度				終了予定	
	[昭和27年度] 墨田区立寺島図書館が開館（東京市立→墨田区立） [昭和32年度] 緑図書館が緑二丁目1番地に開館 [昭和37年度] あずま図書館が吾嬬町西三丁目1番地に開館 [昭和55年度] 立花図書館・八広図書館が開館 [平成2年度] 緑図書館が緑二丁目24・5号に新築・開館 [平成14年度] 窓口業務に一部委託導入 [平成25年度] あずま図書館と寺島図書館を統合し、ひきふね図書館が開館 [平成29年度] 緑・立花・八広各館に指定管理者制度導入 [令和6年度] 立花図書館、大規模修繕予定					
議 会 質 問 の 状 況	令和6年2月：ブックポストの設置について質問あり。					
そ の 他 特 記 事 項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等） 第27回墨田区住民意識調査（令和4年度）における「図書館」の利用頻度 ・月1回～2回程度利用 11.6％（区の17の施設のうち2位 1位は公園・児童遊園）					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予算現額（事業費）		217,453	301,676	215,445	249,129	257,155	353,692
A. 決算額（令和6年度は見込み）		213,163	262,024	212,380	241,055	245,339	353,692
財 源	国						
	都						
	その他	27	25	17	12	13	22
一般財源		213,136	261,999	212,363	239,314	245,326	353,670
執行率（％）		98.0%	86.9%	98.6%	96.8%	95.4%	100.0%
B. 人コスト		13,981	14,115	14,073	19,630	29,792	
総事業決算額（A+B）		227,144	276,139	226,453	260,685	275,131	
予算書P（令和6年度）		P261 2-(1)(2)		執行実績報告書P（令和5年度）		P197 2-(1)(2)	

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和4年度（決算）			令和5年度（決算）			令和6年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
需用費	消耗品費等	921	需用費	消耗品費等	1,354	需用費	消耗品費等	1,389
役務費	清掃等	8,784	役務費	清掃等	8,756	役務費	清掃等	13,248
委託料	指定管理料等	195,809	委託料	指定管理料等	197,749	委託料	指定管理料等	204,212
使用量及び委託料	駐車場使用料等	2,700	使用量及び委託料	駐車場使用料等	2,495	使用量及び委託料	駐車場使用料等	3,242
工事請負費	補修費等	1,519	工事請負費	補修費等	3,264	工事請負費	補修費等	93,882
備品購入費	備品購入費	91	備品購入費	備品購入費	818	備品購入費	備品購入費	90
負担金補助及び交付金	電気料負担金等	31,231	負担金補助及び交付金	電気料負担金等	30,901	負担金補助及び交付金	電気料負担金等	37,629

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指 標	開館日数				単 位	日
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		342	R7	目標	346	342	342	342
				実績	342	342	342	331
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	342	342	342	342	343	342
		実績	302	325	342	342		
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	管理面でのトラブル等による閉館となることがないよう、図書館の開館日数を選定した。 また、目標値（開館日数）は、年間総数（365日）から条例に基づく休館日（年末年始と館内整理日）及び特別整理期間（5日間）等を差引き342日とした。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指 標	来館者数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		1,020,000	R7	目標	934,000	940,000	950,000	960,000
				実績	934,281	1,081,324	1,121,418	1,046,853
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	970,000	980,000	990,000	1,000,000	1,010,000	1,020,000
		実績	632,808	877,907	935,998	971,091		
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	「来館者数」を指標とすることにより、図書館が生涯学習の拠点として安全かつ適正に管理運営されている施設であることが示せる。また、目標値については、着実に来館数を増やしていく値としている。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	図書館が「生涯学習の拠点」の役割を今後とも担えるように、施設の維持を継続する。また指定管理館においては、引き続き図書館サービスの充実を目指す。

課題・問題点
令和6年度に立花図書館の空調設備等の大規模修繕工事が、令和7年度に八広図書館の大規模修繕工事がそれぞれ予定されているため、工事内容の調整、開館の工夫や東京都との調整等が必要になる。

施 策	521	区民が生涯にわたり学び、その成果を活かすことができる環境をつくる				部内優先順位
事 業 名	図書館事業費					2
目 的	生涯学習の拠点として、有識者や教育関係者の専門的な知見の活用や区民の意見を取り入れながら、図書館サービスの向上を図る。また、各種イベント等の実施により、区民が生涯にわたって学ぶことができる環境をつくる。					主管課・係（担当）
						ひきふね図書館
						03-5655-2350
対 象 者	来館者 (主に、区内在住・在勤・在学の方、隣接区に在住の方)					
根 拠 法 令 関 連 計 画	教育基本法、社会教育法、図書館法、文字・活字文化振興法、墨田区立図書館条例等					
実 施 基 準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤12、(株)図書館流通センター	
事 業 内 容	・図書館運営協議会の運営 ・すみだ文化講座等の実施 ・窓口業務委託					
経 過	開始年度				終了予定	
	[平成10年度] すみだ文化講座第1回開始～第204回開催(令和5年末現在) [平成14年度] 窓口業務の一部委託開始 [平成20年度] 全図書館を毎月第3木曜日の館内整理日及び年末年始の休日以外の日を開館日とした。 [平成25年度] 図書館運営協議会を設置 ひきふね図書館の開館に合わせて月曜日から土曜日までの開館時間を午後9時までとした。 [平成29年度] 緑・立花・八広の3図書館に指定管理者制度を導入					
議 会 質 問 の 状 況	令和3年2月、墨田区立図書館条例改正を行い、区議会図書室との連携が明記された。					
そ の 他 特 記 事 項						

予算・決算額推移（単位：千円）		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予算現額（事業費）		170,450	182,414	180,511	180,555	180,523	188,745
A.決算額（令和6年度は見込み）		166,952	173,790	177,462	178,563	179,654	188,745
財 源	国						
	都						
	その他	1,206	1,050	985	805	786	804
一般財源		165,746	172,740	176,477	177,758	178,868	187,941
執行率（％）		97.9%	95.3%	98.3%	98.9%	99.5%	100.0%
B.人コスト		24,609	16,602	17,165	16,712	26,387	
総事業決算額（A+B）		191,561	190,392	194,627	195,275	206,041	
予算書P（令和6年度）	P262 3-(1)(2)(7)	執行実績報告書P（令和5年度）			P197-198 3-(1)(2)(7)		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和4年度（決算）			令和5年度（決算）			令和6年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
報酬	会計年度任用職員等	35,812	報酬	会計年度任用職員等	36,430	報酬	会計年度任用職員等	37,446
職員手当等	会計年度任用職員期末手当	7,084	職員手当等	会計年度任用職員期末手当	7,612	職員手当等	会計年度任用職員期末手当	7,372
報償費	講演会等講師謝礼	67	報償費	講演会等講師謝礼	143	勤勉手当	会計年度任用職員勤勉手当	6,911
需用費	消耗品費等	4,868	需用費	消耗品費等	4,545	報償費	講演会等講師謝礼	263
役務費	物品運搬等	6,967	役務費	物品運搬等	7,095	需用費	消耗品費等	5,400
委託料	業務委託等	122,695	委託料	業務委託等	122,720	役務費	物品運搬等	7,722
使用料及び賃借料	物品等借上げ	1,069	使用料及び賃借料	物品等借上げ	1,069	委託料	業務委託等	122,721
			負担金補助及び交付金	図書館総合展出張経費等	40	使用料及び賃借料	物品等借上げ	823
						負担金補助及び交付金	コインラック新紙幣対応改修等	675

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指 標	イベント実施数				単 位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		300	R7	目標	250	260	265	270
				実績	266	465	499	388
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	275	280	285	290	295	300
		実績	18	76	392	412		
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	図書館においてさまざまなイベントを実施し参加してもらうことにより、今まで図書館を利用していなかった方にも図書館を知ってもらい、今後の利用に繋がるものとする。また、目標値については、着実にイベント数を増やしていく値とした。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指 標	来館者数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		1,020,000	R7	目標	934,000	940,000	950,000	960,000
				実績	934,281	1,081,324	1,121,418	1,046,853
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	970,000	980,000	990,000	1,000,000	1,010,000	1,020,000
		実績	632,808	877,907	935,998	971,091		
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	図書館4館の「来館者数」を指標とすることにより、図書館があらゆる世代の利用者のニーズに応えるサービスを展開しており、生涯学習の拠点として機能しているとする。また、目標値については、着実に来館数を増やしていく値とした。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	図書館が「地域の活性化を支える情報拠点」、「区民に役立つ図書館」を目指すために、イベントや講座、また展示やホームページ等の充実を図る。

課題・問題点
図書館の利用目的として、調べものの調査や学習の場としての活用が増加している一方、閲覧席の不足が課題になっていて、スペースの工夫に限界がきている。

施 策	521	区民が生涯にわたり学び、その成果を活かすことができる環境をつくる				部内優先順位
事 業 名	資料購入費					3
目 的	区民及び区外の利用者の知る自由が保障されるように、幅広い分野の資料にアクセスできる状態にすること。					主管課・係（担当）
						ひきふね図書館
						03-5655-2350
対 象 者	来館者 (主に区内在住・在勤・在学の方、隣接区に在住の方)					
根 拠 法 令 関 連 計 画	社会教育法、図書館法、墨田区立図書館条例、墨田区立図書館条例施行規則、墨田区立図書館資料収集要綱					
実 施 基 準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤8、会計年度任用6	
事 業 内 容	区立図書館に必要な資料として媒体別に、適切に選定・購入する。 購入実績値：図書20,751冊、雑誌9,597冊、外新聞や官報、追録等、データベース8種導入					
経 過	開始年度	昭和27年度			終了予定	
	[昭和27年度] 墨田区立寺島図書館が開館(東京市立→墨田区立) [昭和32年度] 緑図書館が緑二丁目1番地に開館 [昭和37年度] あずま図書館が吾嬬町西三丁目1番地に開館 [昭和55年度] 立花図書館・八広図書館が開館 [平成 2年度] 緑図書館が緑二丁目24 - 5号に新築・開館 [平成25年度] あずま図書館と寺島図書館を統合し、ひきふね図書館が開館 [令和 5年度] 電子書籍サービスの開始					
議 会 質 問 の 状 況	・令和2年6月：ビジネス支援の取組について質問あり。 ・令和3年2月：電子書籍の導入について質問あり。 ・令和5年3月：電子書籍を導入するにあたり、課題について質問あり。					
そ の 他 特 記 事 項						

予算・決算額推移（単位：千円）		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予算現額（事業費）		66,955	68,967	65,327	65,329	68,950	69,601
A.決算額（令和6年度は見込み）		63,277	67,061	65,091	62,884	68,148	69,601
財 源	国						
	都						
	その他						
一般財源		63,277	67,061	65,091	62,884	68,148	69,601
執行率（％）		94.5%	97.2%	99.6%	96.3%	98.8%	100.0%
B.人コスト		33,204	33,523	33,424	42,531	50,476	
総事業決算額（A+B）		96,481	100,584	98,515	105,415	118,624	
予算書P（令和6年度）	P262 3 - （ 3 ）	執行実績報告書P（令和5年度）			P197 3-(3)		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和4年度（決算）			令和5年度（決算）			令和6年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
需用費	図書・雑誌等の購入	60,378	需用費	図書・雑誌等の購入	63,986	需用費	図書・雑誌の購入	64,850
使用料及び賃借料	データベース使用料	2,506	使用料及び賃借料	データベース使用料	4,162	使用料及び賃借料	データベース使用料	4,751

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	個人貸出点数(視聴覚資料除く)				単位	点
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		1,680,000	R7	目標	1,590,000	1,600,000	1,610,000	1,620,000
				実績	1,591,987	1,711,546	1,769,969	1,717,531
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1,630,000	1,640,000	1,650,000	1,660,000	1,670,000	1,680,000
		実績	1,502,921	1,893,740	1,871,412	1,813,411		
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	資料の購入と個人貸出点数は、密接な関係にあることから指標とした。なお、最終目標値は着実に個人貸出点数を増やしていく値とした。(新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度は4月9日から5月31日まで、令和3年度は4月25日から5月11日まで休館)							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	来館者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		1,020,000	R7	目標	934,000	940,000	950,000	960,000
				実績	934,281	1,081,324	1,121,418	1,046,853
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	970,000	980,000	990,000	1,000,000	1,010,000	1,020,000
		実績	632,808	877,907	935,998	971,091		
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	「来館者数」が増加していくということが、図書館があらゆる世代の利用者のニーズに応えるサービスを展開しており、生涯学習の拠点として機能していると考え。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	必要な資料を幅広く揃え続けていくことで、地域の教育、教養、文化等の発展に寄与する。また、情報発信としてホームページや展示、配布物を充実及び工夫していく。

課題・問題点
墨田区の人口増及び図書館へのニーズの変化に応じて、図書館資料の幅広い分野の収集を図る必要がある。また、令和5年6月から開始した電子書籍サービスにおける利用者層の拡大やDXによるサービス拡大を推進し、地域資料や長期的に活用される資料等についても引き続き収集する必要がある。

施 策	521	区民が生涯にわたり学び、その成果を活かすことができる環境をつくる				部内優先順位
事 業 名	障害者サービス事業					4
目 的	視覚障害者・高齢者等の図書館を利用することに困難のある区民に対し、必要なサービスを提供する。音訳等のボランティアの育成を図る。					主管課・係（担当）
						ひきふね図書館
						03-5655-2350
対 象 者	墨田区立図書館障害者サービス実施要綱に該当する者					
根 拠 法 令	障害者差別解消法、視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律（読書バリアフリー法）					
関 連 計 画	墨田区立図書館条例、墨田区立図書館障害者サービス実施要綱、墨田区障害者行動計画					
実 施 基 準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤2、会計年度任用4	
事 業 内 容	(1)対面朗読サービス (2)障害者用資料の貸出・製作 (3)郵送サービス (4)個人宅配サービス (5)団体貸出サービス (6)出張貸出サービス (7)出張お話し会 (8)録音図書用機材の貸出 (9)障害者サービス（マルチメディアデジター図書など）の普及活動 (10)ボランティアの育成と研修					
経 過	開始年度	昭和49年度			終了予定	
	[昭和49年度] 身体障害者サービス小委員会を設置し開催 [昭和51年度] 視覚障害者への市販テープの貸出開始（資料を自宅に届ける宅配の実施） [昭和52年度] 図書館の市販テープを郵送貸出開始 [昭和53年度] 朗読者養成講座を開催 [昭和55年度] 対面朗読サービスの開催 拡大写本講習会開催 [昭和56年度] 拡大写本サービス開始 [昭和63年度] 点訳者養成講座を開催 [平成 2年度] 漢点字講習会の開催 [平成 5年度] 出張貸出サービス開始 [平成14年度] 紙芝居、本の読み聞かせ開始 [平成18年度] デイジー講習会を開催（以後毎年開催） 高齢者サービス協力者養成講座を開催（以後隔年開催） [平成23年度] 自館制作の「月刊経済情報」をテープからデジター化へ [平成26年度] 自館制作の雑誌をすべての雑誌をデジター化 [平成28年度] 児童発達支援事業所・放課後デイサービス事業所へのサービス施行開始 [平成30年度] 宅配ボランティア養成講座開始					
議 会 質 問 の 状 況	なし					
そ の 他 特 記 事 項						

予算・決算額推移（単位：千円）		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予算現額（事業費）		2,780	2,672	2,171	2,185	2,340	2,340
A.決算額（令和6年度は見込み）		2,141	1,861	2,079	1,926	1,786	2,340
財 源	国						
	都						
	その他						
一般財源		2,141	1,861	2,079	1,926	1,786	2,340
執行率（％）		77.0%	69.6%	95.8%	88.1%	76.3%	100.0%
B.人コスト		18,350	18,526	18,471	17,994	17,875	
総事業決算額（A+B）		20,491	20,387	20,550	19,920	19,661	
予算書P（令和6年度）	P262 3-(6)	執行実績報告書P（令和5年度）			P198 3-(6)		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和4年度（決算）			令和5年度（決算）			令和6年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
報償費	講師及び奉仕者謝礼	943	報償費	講師及び奉仕者謝礼	905	報償費	講師及び奉仕者謝礼	1,432
需用費	消耗品・図書の購入	577	需用費	消耗品・図書の購入	590	需用費	消耗品・図書の購入	685
使用料及び賃借料	点字機器等の借上げ	253	使用料及び賃借料	点字機器等の借上げ	169	使用料及び賃借料	点字機器等の借上げ	183
備品購入費	録音図書再生機購入費	84	備品購入費	録音図書再生機購入費	82	負担金補助及び交付金	団体への年会費	40
負担金補助及び交付金	団体への年会費	40	負担金補助及び交付金	団体への年会費	40			

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指 標	障害者個人貸出点数				単 位	点
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		13,120	R7	目標	8,800	9,280	9,760	10,240
				実績	8,839	9,901	9,925	9,164
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	10,720	11,200	11,680	12,160	12,640	13,120
		実績	7,086	5,723	5,731	6,283		
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	貸出点数は事業の円滑な運営の指標の一つとなることから選定した。また、目標値については、貸出点数を着実に増やしていく値とした。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指 標	障害者サービス登録者数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		510	R7	目標	180	190	200	210
				実績	182	214	218	199
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	230	260	320	400	500	510
		実績	222	228	223	235		
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	障害者サービス登録者数に応じ、事業が円滑に運営されていることを確認できる。目標値については、今までの実績及び墨田区子ども読書活動推進計画(第4次)を踏まえ令和2年度に再設定した。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	「墨田区子ども読書活動推進計画(第4次)」及び「視聴覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する基本的な計画」に基づき、図書館障害者サービスのPR及びボランティア等の育成等を進める。また、バリアフリー図書の紹介やイベント等を通して障害者の利用を促進していく。

課題・問題点
現在の個人登録者は高齢者が多い。そこで、若年層の利用者への普及啓発活動の一環として、特別支援学級等にLLブック等の団体貸出を行ったり、親子向けのイベントを実施する。また、ボランティアの水準を維持するために、定期的に講習会を実施する等様々な取組を積極的に進めていく。 コロナ禍により減少した障害児施設及び高齢者施設の出張お話し会等について、改めてサービスの必要性を検討していく。

施 策	521	区民が生涯にわたり学び、その成果を活かすことができる環境をつくる				部内優先順位
事 業 名	子ども読書活動推進計画事業費					5
目 的	子どもの読書活動を推進することで、生涯にわたり学ぶことができる力を育むことを目指す。また、子どもの読書活動の推進は、家庭・地域・学校など関係機関との連携・協力のもと総合的・体系的に実現されるものであり、地域全体の生涯学習環境の醸成に資する。					主管課・係（担当）
						ひきふね図書館
						03-5655-2350
対 象 者	0歳～18歳の子ども					
根 拠 法 令 関 連 計 画	図書館法、墨田区立図書館条例、墨田区子ども読書活動推進条例、墨田区子ども読書活動推進計画					
実 施 基 準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤5、会計年度任用4	
事 業 内 容	墨田区子ども読書活動推進計画(第4次)に基づき、家庭、地域、学校等で子どもが読書に親しむ機会と環境を積極的に整備する。 ・小学校の学校図書館運営委託 ・ブックスタート ・調べる学習支援 ・施設等への団体貸出 ・ティーンズサービス等					
経 過	開始年度	昭和26年度		終了予定		
	[平成17年度] 墨田区子ども読書活動推進計画策定 [平成22年度] 墨田区子ども読書活動推進計画(第2次)策定 [平成27年度] 墨田区子ども読書活動推進計画(第3次)策定 [平成30年度] 墨田区子ども読書活動推進条例制定 [令和2年度] 墨田区子ども読書活動推進計画(第4次)策定					
議 会 質 問 の 状 況	なし					
そ の 他 特 記 事 項						

予算・決算額推移（単位：千円）		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予算現額（事業費）		43,002	47,482	53,088	54,441	55,171	56,935
A.決算額（令和6年度は見込み）		41,874	46,880	52,676	53,788	54,758	56,935
財 源	国						
	都						
	その他						
一般財源		41,874	46,880	52,676	53,788	54,758	56,935
執行率（％）		97.4%	98.7%	99.2%	98.8%	99.3%	100.0%
B.人コスト		40,194	40,581	40,460	30,262	31,494	
総事業決算額（A+B）		82,068	87,461	93,136	84,050	86,252	
予算書P（令和6年度）	P262 3 - （ 5 ）	執行実績報告書P（令和5年度）			P197 3-(5)		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和4年度（決算）			令和5年度（決算）			令和6年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
報償費	講師謝礼	50	報償費	講師謝礼	312	報償費	講師謝礼・ 放課後支援員謝礼	716
需用費	消耗品費等	3,915	需用費	消耗品費等	3,865	需用費	消耗品費等	4,741
役務費	資料の運搬	598	役務費	資料の運搬等	645	役務費	資料の運搬	706
委託料	小学校学校図書館運営委託	49,225	委託料	小学校学校図書館運営委託	49,936	委託料	小学校学校図書館運営委託	50,772

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指 標	区立図書館・図書室の延べ貸出者数(18歳以下)				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		124,000	R7	目標	71,718	78,685	81,370	84,056
				実績	71,718	79,016	80,734	77,875
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	91,645	99,234	106,823	114,412	122,000	124,000
		実績	77,252	97,046	95,445	88,843		
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	子ども読書活動推進計画(第4次)の数値目標のうち、18歳以下を網羅できる項目を指標として選定した。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指 標	不読率				単 位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		9.0/11.0 ()	R7	目標	18/28	17/26	16/24	15/22
				実績	16.3/23.5	15.7/23.1	17.2/24	16.8/21.6
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	14/20	13/18	12/16	11/14	9.1/11.5	9.0/11.0
		実績	19.1/27.9	16.0/22.7	20.1/23.2	22.6/30.4		
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	子ども読書活動推進計画(第4次)の数値目標のうち、小5及び中2の不読率を指標として選定した。(小5の不読率/中2の不読率)							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	令和元年度に策定した子ども読書活動推進計画(第4次)に基づき、子どもに関係する施設(学校・幼稚園・保育園・児童館等)やボランティアと連携しながら、子どもの読書活動の推進を図る。

課題・問題点
集客を伴う事業(おはなし会・図書館見学・おたのしみ会等)が再開し、来館者は増えているが、貸出者数は伸び悩む結果となっている。事業の展開を広げるとともに図書の貸出の機会も増やす必要がある。 不読率については、依然高い数値となっており、目標との差が目立つ。電子書籍の導入により、読書をしやすい環境へ変化しつつある中、学校や関係課と連携し、読書活動の充実を図る必要がある。

施 策	521	区民が生涯にわたり学び、その成果を活かすことができる環境をつくる				部内優先順位
事 業 名	図書館と学校図書館の連携事業					6
目 的	学校図書館の環境整備や支援を通して読書活動の推進を図ることにより、児童・生徒が情報リテラシー能力を身に付け、さまざまな学習活動に主体的に取り組んでいける環境をつくる。					主管課・係（担当）
						ひきふね図書館
						03-5655-2350
対 象 者	児童・生徒及び教員、学校図書館司書					
根 拠 法 令 関 連 計 画	学校図書館法、墨田区子ども読書活動推進条例、墨田区子ども読書活動推進計画（第4次）、墨田区立図書館条例					
実 施 基 準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤2	
事 業 内 容	区内小中学校での児童・生徒の読書活動の推進を図るため、学校図書館システムの運用支援を行う。					
経 過	開始年度	平成18年度		終了予定		
	[平成18～23年度] 小中学校35校に学校図書館システムを導入					
議 会 質 問 の 状 況	なし					
そ の 他 特 記 事 項	小中学校の学校図書館に学校司書を配置すると共に、図書館システムの連携を通して、ひきふね図書館から学校図書館の運営及び統計資料等作成の支援を行っている。					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予算現額（事業費）		14,489	15,286	15,887	14,839	16,127	16,768
A.決算額（令和6年度は見込み）		14,460	15,107	15,886	14,837	15,934	16,768
財 源	国						
	都						
	その他						
一般財源		14,460	15,107	15,886	14,837	16,127	16,768
執行率（％）		99.8%	98.8%	100.0%	100.0%	98.8%	100.0%
B.人コスト		12,233	12,351	12,314	8,179	6,810	
総事業決算額（A+B）		26,693	27,458	28,200	27,151	22,744	
予算書P（令和6年度）		P262 5		執行実績報告書P（令和5年度）		P198 5	

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和4年度（決算）			令和5年度（決算）			令和6年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
役務費	通信運搬料	7,588	役務費	通信運搬料	7,588	役務費	通信運搬料	7,588
委託料	施設管理委託料	1,948	委託料	施設管理委託料	2,350	委託料	施設管理委託料	2,373
使用料及び賃貸料	使用料及び賃貸料	6,351	使用料及び賃貸料	使用料及び賃貸料	5,997	使用料及び賃貸料	使用料及び賃貸料	6,807

事業成果	手段に対する指標 (活動指標)	指 標	学校図書館連携システム稼働日数				単 位	日
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		365	R7	目標	366	365	365	365
				実績	366	365	365	365
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	366	365	365	365	366	365
		実績	366	365	365	365		
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	システムを評価する基準として最も基本的な指標となる、システムの稼働日数を選定した。 また、目標値としては、システムが停止して利用できない日がないことを目標に365日とした。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指 標	児童・生徒一人あたりの学校図書館年間平均貸出冊数				単 位	冊
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		55/10()	R7	目標	34/6	36/8	38/9	40/10
				実績	35.7/2.5	38.9/2.5	36.7/2.3	39.1/2.7
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	43/4	46/6	49/8	52/9	55/10	55/10
		実績	45.2/2.8	52.1/3.1	52.1/2.6	52.3/3.2		
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	学校図書館における読書活動を量的に示す指標として選定した。目標値については、墨田区子ども読書活動推進計画(第4次)における最終年度(令和6年度)の目標値を再設定した。(小学校の目標値/中学校の目標値)							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	学校図書館法・図書館法・墨田区立図書館条例・子ども読書活動推進条例等により、司書の配置・図書館の支援は必須であり、図書館システムを設置することで、学校図書館の充実を図っている。

課題・問題点
学校図書館システムを充実させることにより、学校司書が児童・生徒の読書活動の推進を図るため、より効率的な業務環境を整える必要がある。

施 策	521	区民が生涯にわたり学び、その成果を活かすことができる環境をつくる				部内優先順位
事 業 名	図書館オンライン事業					7
目 的	図書館の効率的な運営、利用者の利便性を高める役割を担うことで、区民が生涯にわたり学ぶことができる環境をつくる。					主管課・係（担当）
						ひきふね図書館
						03-5655-2350
対 象 者	来館者 （主に区内在住・在勤・在学の方、近隣区に在住の方）					
根 拠 法 令	図書館法、墨田区立図書館条例・施行規則					
関 連 計 画	墨田区行政情報化推進計画、墨田区情報システム調達・運用ガイドライン					
実 施 基 準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤2	
事 業 内 容	図書館システムをオンライン化することで、蔵書の閲覧、資料の予約・貸出・返却等、図書館サービスの向上と業務の効率化を図る。					
経 過	開始年度	昭和62年度			終了予定	
	[昭和62年度] オンラインシステムの導入開始 [平成17年度] インターネットによる予約サービスを開始 [平成24年度] ひきふね図書館開館に合わせ、システム更新実施、同年ICタグシステム導入 [令和元年度] システム更新（OSをWIN10に更新） [令和 5年度] 電子書籍サービスの導入					
議 会 質 問 の 状 況	なし					
そ の 他 特 記 事 項	墨田区立図書館条例における連携として、各コミュニティ会館図書室・すみだ共生社会推進センターにもシステム端末を連携している。					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予算現額（事業費）		54,124	64,779	64,764	64,758	72,385	61,838
A.決算額（令和6年度は見込み）		51,917	64,763	64,763	64,723	72,380	61,838
財 源	国						
	都						
	その他						
一般財源		51,917	64,763	64,763	64,723	72,380	61,838
執行率（％）		95.9%	100.0%	100.0%	99.9%	100.0%	100.0%
B.人コスト		15,728	15,880	15,832	18,812	8,512	
総事業決算額（A+B）		67,645	80,643	80,595	83,535	80,892	
予算書P（令和6年度）		P262 4		執行実績報告書P（令和5年度）		P198 4	

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和4年度（決算）			令和5年度（決算）			令和6年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
需用費	消耗品費	1,560	需用費	消耗品費等	1,588	需用費	消耗品費等	2,078
役務費	通信運搬料	2,782	役務費	通信運搬料	2,782	役務費	通信運搬料	2,782
委託料	施設管理委託料	32,703	委託料	施設管理委託料	38,973	委託料	施設管理委託料	33,851
使用料及び賃貸料	使用料及び賃貸料	27,680	使用料及び賃貸料	使用料及び賃貸料	29,040	使用料及び賃貸料	使用料及び賃貸料	23,127

事業成果	手段に対する指標 (活動指標)	指 標	図書館オンライン稼働日数				単 位	日
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		365	R7	目標	366	365	365	365
				実績	366	365	365	365
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	366	365	365	365	366	365
		実績	366	365	365	365		
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	システムを評価する基準として最も基本的な指標となる、システムの稼働日数を選定した。 また、目標値としては、システムが停止して利用できない日がないため、目標を365日とした。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指 標	インターネット利用等による予約受付件数				単 位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		465,000	R7	目標	420,000	430,000	430,000	435,000
				実績	426,957	463,896	500,871	536,026
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	440,000	445,000	450,000	455,000	460,000	465,000
		実績	589,909	703,741	670,492	654,930		
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	利用者が本を借りる際に、窓口・電話による予約に加えて、図書館webサイトからの予約も可能であることは、図書館サービスの向上に寄与していることから、この指標を選定した。目標値は実績値等を参考に設定した。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	図書館システムのオンライン化の推進は、図書館サービスの向上と業務の効率化に欠かせないものであることから、引き続き運営を行っていく。

課題・問題点
令和5年6月から開始した電子書籍サービスの利用を一層促進するとともに、インターネットを通じた利用申請を導入することにより、インターネットによる利用者へのサービス拡充を図っていく。また、今後、図書館システムの更新に合わせて、他部署との連携や図書館サービスの充実を図るための見直しを検討する必要がある。

施 策	策	521	区民が生涯にわたり学び、その成果を活かすことができる環境をつくる				部内優先順位	
事 業 名	視聴覚資料						8	
目 的	視聴覚資料の収集・保存を行い、広く区民の利用に供することにより、その教養と文化の発展に資する。						主管課・係（担当）	
							ひきふね図書館	
							03-5655-2350	
対 象 者	来館者 (主に区内在住・在勤・在学の方、隣接区在住の方)							
根 拠 法 令	図書館法、墨田区立図書館条例等							
関 連 計 画								
実 施 基 準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先		常勤1、会計年度任用1		
事 業 内 容	墨田区立図書館に必要な視聴覚資料の収集、保存、貸出等							
経 過	開始年度	昭和50年度			終了予定			
	[昭和50年度]レコード貸出開始 [昭和63年度]CD貸出開始 [平成 2年度]ビデオテープ貸出開始 [平成17年度]DVD貸出開始							
議 会 質 問 の 状 況	なし							
そ の 他 特 記 事 項								

予算・決算額推移（単位：千円）		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予算現額（事業費）		2,358	2,328	2,211	2,179	2,174	2,238
A.決算額（令和6年度は見込み）		2,350	2,243	2,208	2,074	2,131	2,238
財 源	国						
	都						
	その他						
一般財源		2,350	2,243	2,208	2,074	2,131	2,238
執行率（％）		99.7%	96.3%	99.9%	95.2%	98.0%	100.0%
B.人コスト		6,990	7,058	7,037	7,361	9,363	
総事業決算額（A+B）		9,340	9,301	9,245	9,435	11,494	
予算書P（令和6年度）	P262 3 - （ 4 ）	執行実績報告書P（令和5年度）			P197 3-(4)		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和4年度（決算）			令和5年度（決算）			令和6年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
需用費	CD・DVD購入	1,530	需用費	CD・DVD購入	1,641	需用費	CD・DVD購入	1,600
委託料	CD・DVDマーク作成	537	委託料	CD・DVDマーク作成	484	委託料	CD・DVDマーク作成	487
使用料及び賃借料	研磨装置借上	7	使用料及び賃借料	研磨装置借上	7	使用料及び賃借料	研磨装置借上	151

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指 標	視聴覚資料の貸出点数				単 位	点
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		150,000	R7	目標	150,000	150,000	150,000	150,000
				実績	150,833	147,524	140,118	132,299
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000
		実績	108,571	124,970	117,060	101,491		
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	社会生活の変化を反映して、視聴覚資料の貸出点数は年々、減少傾向にある。名盤・名作や郷土資料など収集価値のある資料や需要の見込める資料を収集していくことにより、貸出点数を維持することを目標とした。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指 標	来館者数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		1,020,000	R7	目標	934,000	940,000	950,000	960,000
				実績	934,281	1,081,324	1,121,418	1,046,853
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	970,000	980,000	990,000	1,000,000	1,010,000	1,020,000
		実績	632,808	877,907	935,998	971,091		
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	図書館4館の「来館者数」を指標とすることにより、図書館があらゆる世代の利用者のニーズに応えるサービスを展開しており、生涯学習の拠点として機能していると考え。また、目標値については、着実に来館者数を増やしていく値とした。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	名盤・名作や郷土資料を中心とした視聴覚資料は、区民の教養と文化の発展に資するため、引続き適切に選定・購入していく。

課題・問題点
図書館用のDVDは、著作権法上、権利者へ相当額の補償金を支払った上(販売額に上乘せ)で利用(無料貸出)の許諾を受けているため、価格が一般向けのものよりも高額で、かつ、権利者からの許諾がないために図書館で購入できない作品もある。このように図書館で購入できる視聴覚資料に限りがあるなかで、郷土資料などの収集価値が高い視聴覚資料を収集・所蔵し、また、必要に応じて保存していく必要がある。一方、CDに関しては、利用率が伸びていないことから、今後の必要性等について検討する必要がある。